

## 3月議会のあらまし

3月議会は、2月28日～3月23日まで24日間の会期で開催されました。

平成29年度の7会計の当初予算をはじめ、平成28年度最後の補正予算、「弥富市議会の議決すべき事件に関する条例の制定」をはじめ、市条例の改正など11件の認定・廃止など、その他の3件が上程されました。

平成29年度予算を含むすべての議案を、原案どおり可決しました。

一般質問では、12人の議員が市政全般の問題にわたり、質問を行いました。

### 副市長再任

副市長の任期満了に伴い、大木博雄氏の再任を全会一致で同意しました。



大木博雄氏

### 市税条例の一部改正

法人市民税率（法人税割）の引き下げの件。

29年度予算ベースで計算した時の減収額は。

1億700万円が減収額となる。

制限税率は何%になるのか。

8・4%である。

法人市民税の減額に対する補てんはあるか。

事業税交付金が創設され、相当額が補てんされる。

### 議案質疑

#### 庁舎建設

予算計上が「継続費」となっているが、「継続費」とは。

年度をまたいで使うことができない予算。

## 施政方針（抜粋）



景気回復による市税収入の伸びより、高齢化の進展に伴う社会保障関連経費の増加および公共施設の維持管理に伴う経費の増加の方が大きいため、これまでどおりに公共サービスを提供することが難しくなりつつあります。こうした状況を踏まえ、平成29年度は「行政の構造改革元年」とし、保育料、国民健康保険税、公共施設の使用料、公共施設の統廃合を含めた維持管理の見直しなど、様々な改革に着手してまいります。

- 平成29年度市政運営にあたっての重要な視点
- ① 「もっと災害に強いまちづくり」
  - ② 「もっと人に優しく健やかなまちづくり」
  - ③ 「もっと豊かで活力あるまちづくり」
- 本市が目指す将来像である「みんなで作るきらめく弥富・自然と都市が調和する元気交流空間」の実現と同時に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進してまいります。

### 反対

那須英二議員  
市民の願いに立った市政運営を

市長は「行政の構造改革元年」として様々な改革を挙げられているが、市の保育料は少子化の観点から他市と比べ魅力となっている。国民健康保険税の見直しも非正規労働者や低所得者に対して負担が増す。また、新庁舎建設は必要であるが、身の丈に合った規模・計画に見直すべき。

### 討論

平野広行議員  
重点目標に沿った予算措置

新庁舎建設など大型事業をはじめ、防災、健康・福祉、JR名鉄弥富駅前整備などは、地域の活性化のために必要な施策である。市の3つの重点目標は市民と共有し、進めなければならない。

### 賛成